

事務事業名		市営住宅管理事業		<input type="checkbox"/> 実施計画掲載事業 <input type="checkbox"/> 合併建設計画掲載事業	
政策体系	政策名	潤いに満ちた快適な都市環境の創造		事業期間	
	施策名	良好な生活空間の創造			
	基本事業名	安全・快適な住宅づくりの推進		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 昭和29 年度～)	
根拠法令		民法、借地借家法、市営住宅条例、浄化槽法、消防法		予算科目 会計 款 項 目 事業 01 08 06 02 05	
部課名		住宅公園課			
所属	係名	住宅管理係	電話 0192-27-3111 内線 327	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入	
	事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		全体計画(※期間限定複数年度のみ)		
市営住宅入居者の要望などによる修繕とは別に、市営住宅等にかかる消防設備、浄化槽点検、火災共済加入等の日常の維持管理を行う。 偶発的なものとして、シロアリ駆除、支障木伐採等がある。 主な業務は、消防設備、浄化槽等にかかる管理委託等、火災共済加入事務。 事業費は、検査手数料、建物共済手数料、維持管理委託費、害虫駆除委託費等として支出される。		総投入量 (千円)		事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0	
		人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) 0		トータルコスト(A)+(B) 0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称 単位	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		ア 委託業務件数(毎年行うもの) 件	
消防設備、浄化槽等にかかる管理委託、害虫駆除委託等、火災共済加入。		イ 委託業務件数(シロアリ防除、支障木伐採等偶発のもの) 件	
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		ウ	
前年度と同じ。		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		名称 単位	
市営住宅団地。		カ 通常維持管理委託住宅団地箇所数 団地	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		キ 偶発委託住宅団地箇所数 団地	
市営住宅の居住環境を良好に維持する。		ク	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
良質な市営住宅を提供する。		名称 単位	
		サ 市営住宅等入居世帯数(各年4/1現在) 世帯	
		シ	
		ス	

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費	財源内訳	年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(目標)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)
			単位						
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円		1,737	2,000	3,000	3,500	3,500
		一般財源	千円	1,543	2,077	2,500	3,000	3,500	3,500
		事業費計(A)	千円	1,543	3,814	4,500	6,000	7,000	7,000
		人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1
人件費	延べ業務時間	時間	80	80	80	80	80	80	
	人件費計(B)	千円	320	320	320	320	320	320	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,863	4,134	4,820	6,320	7,320	7,320	
⑤活動指標	ア	件	23	8	26	30	30	30	
	イ	件	4	3	5	5	5	5	
	ウ								
⑥対象指標	カ	団地	23	9	26	30	30	30	
	キ	団地	4	3	5	5	5	5	
	ク								
⑦成果指標	サ	世帯	418	405	500	800	1200	1200	
	シ								
	ス								

事務事業ID	0652	事務事業名	市営住宅管理事業
--------	------	-------	----------

<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b>	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	火災共済への加入事務は、当初建設当時から加入、浄化槽、消防設備等の管理委託については、設備設置後法定化により開始した。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	児童遊園の遊具に対しては、より一層の安全性の確保が求められている。 また、近年は、シロアリ防除、支障木伐採などの偶発的なものも随時発生し、その対応は増えてきている。 さらに震災の影響により、災害公営住宅を約800戸建設する予定である。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	特になし。

**2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価**

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 良好な住環境を維持するために必要なものである。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 市営住宅団地に対するものであり、市が負担すべきものである。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 長期空家で火災共済に加入しているものもあるが、必要最低限としている。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 既存住宅の適切な管理を実施することにより、安定した住環境が確保される。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 法定のものは、維持管理上廃止等できない。 火災共済加入、遊具点検については任意であるが、万一の場合を考えると廃止等できない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒【理由】(具体的な手段、事務事業) 火災共済については、全国市町村会公有物件災害共済と公営住宅火災共済機構によるもの2制度あるが、それぞれ長所・短所があるので使い分けている。 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 浄化槽を公共下水道に接続するのは困難であるし、火災共済の加入、支払事務統合は、現行の会計事務上不可能である。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 数年来同内容での管理委託となっており、低コストでの契約も限界がある。 これ以上の契約額の変更は管理の質の低下を招きかねない。 業務によっては近隣の専門業者がなく、競争原理も働きづらい。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最低限の人員・時間で実施している。 複数年契約やシロアリ駆除における単価契約も困難である。 偶発的業務の増減により、事業量も変動する。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 設備の維持にかかわる部分は、条例で市の負担と決まっている。

事務事業ID	0652	事務事業名	市営住宅管理事業
--------	------	-------	----------

### 3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>多種多様な業務が含まれている。 法定されているものの廃止等はできない。 任意の事務も必要不可欠である。</p>																					
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)		(4) 改革・改善による期待成果																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 ( <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善 )		左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
(上記方向性に対する具体的な内容) 管理委託費が中心であり、これ以上のコスト削減は難しい。 偶発的業務については予測が不可能である。 よって、今年度同様に事業を継続して実施する。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 特になし。																							

(職名) ※原則として施策の主管課長 (氏名)

### 4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	住宅公園課長
-------	--------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合																							
① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) <input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい <input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある <input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている																							
② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) <input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されていない) <input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある <input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																							
(2) 2次評価者としての評価結果		(3) 評価結果の根拠と理由																					
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>法定業務がほとんどで、最小限の管理業務となっている。</p>																					
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)		(5) 改革・改善による期待成果																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 ( <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善 )		左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
(上記方向性に対する具体的な内容) 安定した市営住宅の管理運営を継続する必要がある。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			

### 5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
---------------------